

学年・教科・担当者	1年	音楽科	小池 基文
-----------	----	-----	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6	言葉と歌声との関わり へ音譜表の理解とパートの役割 「校歌」 「浜辺の歌」	言葉の特性とその発声との関わりを理解する。 自分の声の性質と歌い方の長所や短所などを見つけようとする態度を身につける。 変声期について気付くとともに、へ音譜表との関わりを理解する。 声部の重なり方の特徴を感じ取る。
	7	鑑賞「春」 日本の民謡	歌詞と音楽を形づくっている要素との関わりを感じ取って、歌唱表現を工夫する。 楽曲の雰囲気や味わいを支えている音楽の諸要素を知覚する。 人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わう。
2	8		曲の味わいや特徴を支える速度や強弱の変化の働きを知覚・感受して、表現を工夫する。
	9	速度や強弱の表現の工夫と指揮 混声合唱曲	指揮を通して表現の工夫をする。
	10	曲に合った声と ハーモニーの美しさ・楽しさ	自分の声に興味をもち、歌い方を工夫しようとする態度を身につける。 仲間と築くハーモニーの美しさや楽しさを感じ取りながら、基礎的な表現の技能を身につける
	11	混声合唱曲	曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を感じ取って聴く。
	12	鑑賞 「魔王」	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。

3	1	さまざまな曲想の表現 混声合唱曲	<p>箏の表現を味わいながら，特徴を生かして活動する。</p> <p>アジア各地の音楽に触れ，そのよさを味わう。</p> <p>歌詞の内容を味わい，その言葉を聴き手に届けるような歌い方を工夫する。</p>
	2	箏の表現を生かして	
	3	アジアの諸民族音楽 心通う合唱	

評価について	
評価の観点	評価の方法
①音楽への関心・意欲・態度	授業への取り組み 定期考査
②音楽表現の創意工夫	授業への取り組み 定期考査
③音楽表現の技能	授業への取り組み 定期考査
④鑑賞の能力	授業への取り組み 定期考査